

ひまわり



医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。

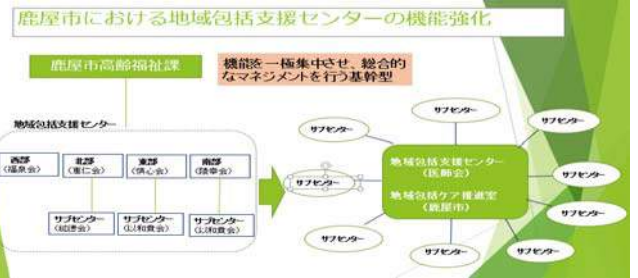
平成29年度在宅医と後方支援病院医師および訪問看護師、介護支援専門員との意見交換会(9/12)



平成26年度から開催しております在宅医と後方支援病院医師との意見交換会も今回で4回目の開催となりました。今回は、薬剤師会からもご参加頂き合計42名の方にご出席頂きました。出席者の内訳は、在宅医(ますざき医院、わかばクリニック、愛宕山診療所、宮之城病院)計5名、後方支援病院医師(薩摩郡医師会病院2名、クオラリハビリテーション病院3名)、薬剤師会(ウチ薬局、青空薬局、さし薬局)計3名、訪問看護ステーション(訪問看護・リハクオラu1名、@あっと訪問看護ステーション薩摩川内2名)計3名、医療機関看護師(てらだ内科クリニック、木原医院)計2名、介護支援専門員(アルテンハイム鶴宮園、市比野記念病院、ほたるの里、あじさい、さつま町居宅、JA北さつま)計8名、MSW(薩摩郡医師会病院、クオラリハビリテーション病院、市比野記念病院)計4名、地域振興局2名、地域包括支援センター2名、行政3名。今回のテーマは、①入退院時の情報交換について ②退院時カンファレンスについて ③各立場における課題について 意見交換して頂きました。今回初めて参加された薬剤師会から「薬学的介入による在宅医療サービス推進事業」についてご説明があり、医療材料や衛生材料に関する質問に対し情報提供も頂きました。退院時カンファレンスについては、参加された医師から「専門職の意見や家族の考えが聞けて非常に助かった」とのご意見がありました。最後に「介護認定を受けていないがん患者さまの退院時には、ぜひカンファレンスを開催して頂きたい」と事業運営委員長のご発言もありました。

在宅医療介護連携拠点先進地視察研修(10/5)

鹿屋市地域包括支援センター・在宅医療介護連携支援センター



垂水市地域包括ケアセンター



4つの機関の人員構成と役割

- ①垂水市地域包括支援センター
保健師1、主任ケアマネ1、社会福祉士2、
ケアマネ3、看護師4 計 11名
- ②垂水市保険課地域包括ケア係・NPO法人
事務職3、保健師2、NPO法人2 計 7名
- ③垂水市中央病院在宅療養支援部
医師1、看護師2 計 3名
- ④肝属郡医師会立訪問看護ステーション
看護師4 計 4名

それぞれの機関の役割を果したしながら
①合同研修会を通じた理念の共有 ②地域支援事業の企画・立案
③研修事業への取り組み

平成29年10月5日薩摩川内市高齢介護福祉課、川内市医師会、さつま町高齢者支援課、薩摩郡医師会、両在宅医療支援センターより14名参加し、鹿屋市地域包括支援センターと垂水市地域包括ケアセンターの2ヶ所を視察致しました。鹿屋市では、県内初の取り組みである地域包括支援センターを鹿屋市医師会に委託した経緯や基幹型地域包括支援センターとサブセンターの役割や組織について研修しました。垂水市地域包括ケアセンターでは、垂水中央病院在宅療養支援部の池田先生による垂水市における地域包括ケアシステム構築についてのお話を頂き、先生の熱い思いが感じられました。どちらも行政担当者、地域包括支援センター、在宅医療担当者が同じ建物内で情報交換が行われ、住民の方へのワンストップサービスが実践されていると感じました。川内市医師会、薩摩郡医師会共に今後も在宅医療と介護の連携の推進に行政や包括支援センターとの協力体制の充実に取り組んで行かなければならないと感じさせられた研修でした。

裏面もお読み下さい

退院支援に関する医療機関と介護支援専門員の意見交換会(11/2)



川内市医師会と薩摩郡医師会合同開催による意見交換会を開催し88名の方が出席されました。終了後の懇親会には50名の方にご参加頂きました。「川薩地域医療と介護の連携におけるアンケート調査結果」について 川薩保健所栗野孝子氏、「医療介護連携シートを活用した退院支援」について 居宅介護支援事業所ピア古城裕喜氏より説明して頂いた後、「医療介護連携シートの活用と今後の具体策について」グループワークを行って頂きました。3グループからの発表を頂いた後、最後に川内市医師会理事の小山寿先生より「ケアマネからの入院時情報提供書はとても助かっているため今後も情報提供をよろしくお願ひします。」と総評を頂きました。

平成29年度第3回薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会(12/2)



今回から新たにさつま町社会福祉協議会より柳田道輝氏と指定特定相談支援事業つらなりの内田秀三氏にメンバーとなって頂きました。先進地視察報告や意見交換会の報告の後、医療介護資源ガイドについての協議と緊急時情報シート(住民主体)について協議して頂きました。

平成29年度第5回多職種研修会 薬剤師会との共催(10/18)



10月18日に薬剤師会主催・医師会共催で開催致しました研修会では「多職種連携による多剤・重複服薬への取り組み」について岩元先生のご講演がありました。その後近くの方同士での意見交換を行って頂きました。アンケート結果では、「訪問事例を用いた説明がとても解りやすかった」「他職種の方と話す事が出来て良かった」などのご意見を頂きました。参加者数:44名

平成29年度第6回多職種研修会 歯科医師会との共催(11/15)



11月15日開催の歯科医師会主催・医師会共催の研修会では、「超高齢社会における歯科の役割」について福岡宏士先生がご講演されました。参加者のアンケートからは、口腔ケアの大切さがとても良く解りました。とても面白い勉強会でしたなどのご意見が多数聞かれました。参加者数:54名

下甑島地域における医療・介護連携に係る意見交換会(11/15)



特別養護老人ホーム甑島敬老園に於いて、下甑島地域の医療・介護事業所の代表の方々と薩摩川内市高齢介護福祉課、市民健康課、市民福祉部、鹿島支所、下甑支所職員の総勢40名が出席され意見交換会が開催されました。薩摩川内市より「地域包括ケアシステムの概念と市の取り組みについて」報告があり、次に「薩摩郡医師会における在宅医療推進事業の取組みについて」ご報告させて頂きました。その後、各機関・事業者における現状と課題について意見交換が行われました。限られた少ない資源の中での下甑島地域の地域包括ケアシステムの構築について活発な意見交換がなされました。



□ 今後の予定 □

- 1/17 川薩地区在宅医療推進連絡協議会
場所:川内市医師会看護専門学校
- 2/20 薩摩郡医師会在宅医療推進
事業運営委員会
場所:薩摩郡医師会会議室

<支援センターより>
本年も皆様のあらゆるご支援を頂き活動行うことができました。誠に有難うございました。来年も本年同様どうぞよろしくお願い申し上げます。良いお年をお迎えください。